

サービス評価結果報告書

令和 4 年 3 月 28 日

事業所名	グループホーム 静和
担当者名	久富木 良

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 の実施日	令和 3 年 10 月 27 日～10 月 30 日	自己評価の 実施人数	(16) 人
-----------------	-------------------------------	---------------	----------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	2022 年 1 月 12 日	出席人数 (合計)	(10) 人
出席者 (内訳)	■事業所職員 (3) 人 ■地域住民の代表者 (4) 人 ■市職員・包括支援センター職員 (1) 人 □利用者 () 人 ■利用者の家族 (2) 人 □知見を有する者 () 人 □その他 () 人		

【 提出書類 】

認知症対応型共同生活介護 (介護予防含む)
■※要提出 (別紙 2 の 2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

※提出先 鹿児島市介護保険課給付係

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念・事業所理念を見やすい場所に掲示し、毎朝の唱和を原則としている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている ○C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会の一員として、また地域コミュニティ協議会の構成員として、各種会合や行事に参加・協力する準備はあるが、この1年は参加機会がないところである。	・どのようにすれば地域の力を活用できるか検討する。(たとえば、地域との交流サロンの開催や写真の入った通信の配布のようなものができれば、利用者・事業所・地域の相互にとって良いと思う)		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この1年は書面開催が多く、事業所内の報告は行っていたものの、意見をしっかりといただく機会を設けることができなかった。	・委員に個別に見学してもらうなど、現状の取組について、より理解してもらえる方法を検討する。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政や地域包括支援センターには適宜足を運び、あるいは電話などで相談や報告等行っている。	・事例の検討など地域包括支援センターや運営推進委員などにも必要に応じて相談する。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、身体拘束・高齢者虐待に関する研修を開催するほか、グループ内の管理者会議で毎月検討し、内容をスタッフに周知している。		○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、身体拘束・高齢者虐待に関する研修を開催するほか、グループ内の管理者会議や事業内に設置された委員会ですべて事例を検討している。		○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各々について大まかには理解されており、必要と思われる場合にはグループ内で検討・支援し合う体制が整っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には事業所のケアへの考え方や退居時の対応、また料金体系・起こりうるリスク・医療連携体制などについても併せて説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱の設置や定期的なおたよりの送付のほか、アンケートや面会の機会などを利用して、積極的な意見の聴取を心掛けている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各フロアリーダーとのミーティングや各フロアでのスタッフミーティング等を通じ、また適宜相談に応じるなどして意見や要望を聴取している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループ内の管理者会議のほか、管理者が報告・相談できる体制が整っており、事業所内の労働環境については、グループを挙げて整備に努めている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の職場内研修のほか、必要に応じ外部研修の案内や参加要請、また個別の研修を行い、個々の資質向上を図っている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループ内ではあるが、外部講師による研修会や、資格取得のための合同勉強会、共通の行事等への参加により相互の研鑽を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は人生の先輩であるという考えのもと、できる限り意見を尊重しつつ、和やかな生活が出来るように場面作りや声かけを心掛けている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍においても、条件つきながら、時間や回数・人数に制限なく面会を認めており、また電話の取り次ぎや毎月の家族へのおたより送付も行っている。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃のコミュニケーションや家族との会話により、これまでの暮らしや思いを少しでも把握し、支援に反映させられるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から本人とコミュニケーションを図り、必要に応じ家族へ報告や相談を行ったり、定期的に計画作成担当者を交えたスタッフ同士で意見交換をしたりしている。	・事例の検討など地域包括支援センターや運営推進委員などにも必要に応じて相談する。	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・委員も事例検討に参加するなど、何か協力できることはないか。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録のほか、モニタリングシートを活用して、気づきやケアの妥当性をスタッフで共有し、実践や計画の見直しにつなげている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・委員も事例検討に参加するなど、何か協力できることはないか。 ・スタッフ同士・関係者同士が同じ気持ちを持つことで情報の質も高くなると思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている ○C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる範囲でリモート面会や家族の手料理の差し入れなど受け入れてはいるが、これまで比較的柔軟に対応してきた家族との外出・面会・外泊など難しい状況はある。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ○D. ほとんどできていない	この1年、感染症対策等もあり地域資源の活用が十分であったとは言えない。	・どのようにすれば地域の力を活用できるか検討する。(たとえば、地域との交流サロンのようなものができれば、利用者・事業所・地域の相互にとって良いと思う)		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の希望をもとに主治医の受診を行い、連携を図っている。また適宜家族と協力し、希望する病院への受診が行えるよう図っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時においては、入院時の治療や退院後の支援が円滑に行えるよう入院中も含め、情報交換や相談など連携を図っている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている ○B. ほぼできている	重度化・看取りに関する指針を定め、入居時に説明するほか、終末期のあり方については、入居時のほか		A. 充分にできている ○B. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年1回程度、本人・家族とともに考える機会を設けている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の対応については、座学が中心ではあるが、定期的にマニュアル等を用いた研修の機会を設けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の防災訓練では、起こりうる様々なシチュエーションでの訓練を実施し、隣接マンションや近隣住民・学校等にも協力を呼び掛けている。	・新しい委員もいるので、最新の委員の連絡網を作成する。	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・救援体制についてのシミュレーションをしてほしい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者各人をひとりの人間・人生の先輩と捉え、誇りや心情に配慮した敬意ある対応ができるよう、会議や研修で啓発している。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・差し支えない範囲で会議や研修の資料を開示できないか。 ・一人ひとりを大事にしていることが判り安心できる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の暮らしの中で、少しでも心身の状況や希望に合わせた個別的な生活が送れるよう努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時には菜園で収穫を行ったり、家族からの差し入れを利用したりしながら、各々の好みや能力に可能な限り配慮して提供している。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・写真などで食事内容も開示してほしい。 ・一人ひとりを大事にしていることが判り安心できる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力や状態に応じて、食事の形態や食器などを工夫し、適宜栄養士や医師などにも相談しながら進めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医師や栄養士の指導・助言を得ながら、個々の口腔内の状態や能力・これまでの習慣等に配慮した口腔ケアを実施している。		○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・一人ひとりを大事にしていることが判り安心できる。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンの把握と、可能な限りトイレでの排泄を勧めており、また医師や栄養士に相談しながら、個々の状態に応じた便秘予防に努めている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個別によく考えられ対応していると思う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が快適に入浴できるよう、声かけやタイミング等に配慮し、可能な限り希望にそえるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中はなるべく離床を勧めながら、それぞれの体調や状況等に応じ、アクティビティや休息の時間を設けており、夜間の安眠につなげている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療職(医師・看護職・薬剤師)にも適宜相談し、指導・助言をもらいながら服薬支援・体調管理等行っている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬の変更や追加などあった場合、家族にも知らせた方がよい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	得意なことや好きなことをなるべく大事にして、生活リハビリ(家事など)やレクリエーション、日常のコミュニケーションなどに活かしている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ○C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで希望に応じて、地域のイベントなどに参加してきたが、この1年は感染症対策もあり、ドライブ程度しか支援が行えていない。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し使えるように支援している	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭は基本的に事業所で預かるが、所持を希望する場合は、利用者同士のトラブル予防のため、家族にも所持について理解を促している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りをしたりできるように支援をしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通信の制限は特に行っていない。希望に応じ対応しており、相談などにも適宜応じている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内はゆとりのあるバリアフリー空間で、共用部分は札や張り紙などでわかりやすく構造化されている。また季節ごとにインテリアを変えるなど時季の移ろいを感じられるよう工夫している。		○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・掲示物の高さなども、見えやすいように工夫されている ・無意識のうちに快適さを味わえているのではないか。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人との日々の関わりや、家族との話の中で、意向の把握に努め、ミーティング等を利用して情報の共有を図っている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの生活歴や家族関係・意向等をふまえ、個別的なプランニングに基づいた支援ができるよう努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医や協力医療機関等と連携を図りながら健康管理を行っており、安全面においても、定期的に事例を検討する機会を設けている。		○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・心に届く個別的な対応を心掛けており、素晴らしいと思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活スタイルの把握に努め、大事にしていた習慣などはなるべく尊重するように関わっている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	私物の持ち込みには特に制限はなく、馴染みのものや大事なものなど、思い思いに所持している。		○A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・心に届く個別的な対応を心掛けており、素晴らしいと思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている ○C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この1年、感染症対策のため、外出等が制限されていたが、可能な範囲でドライブや散歩など、意向や希望に応じ実施している。	・できる範囲で委員など地域の力も活用することを検討する。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各人の能力や心身の状況に応じて、コミュニケーションやレクリエーション等のあり方を工夫し、その人なりに楽しめるよう努めている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各人の能力や心身の状況に応じて、コミュニケーションやレクリエーション等のあり方を工夫し、その人なりに楽しめるよう努めている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流したりすることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特にこの1年は、感染症対策のため外部との接触を制限しており、外出や交流の機会は十分提供できなかった。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者一人ひとりが穏やかに、健やかに、いきいきと生活できるよう配慮して支援にあたっている。		A. 充分にできている ○B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍でなければ、もっと安らぎ・安心が得られるのではないと思う。 ・今後の活動に期待している。

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 3 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	この1年は、感染症対策のため外部との接触を制限しており、外出や交流の機会は十分提供できなかった。	可能な範囲で地域に出る機会を作ったり、地域資源を活用する機会を作ったりする。	毎月の行事や日常生活の中で、外出の機会を作ったり地域との交流が出来ないか毎回検討する。	10ヶ月
2	17	日頃から本人とコミュニケーションを図り、必要に応じ家族へ報告や相談を行ったり、定期的に計画作成担当者を交えたスタッフ同士では意見交換をしたりしていたが、関係機関との連携がやや不十分であった。	関係機関と連携を図り、また引き続きスタッフとも綿密に意見交換をしてよりよいサービス計画を作成し実践する。	日々の実践と利用者の様子についての気づきノートを活用し、意見交換がしやすくする。	10ヶ月
3	25	年2回の防災訓練では、起こりうる様々なシチュエーションでの訓練を実施し、隣接マンションや近隣住民・学校等にも協力を呼び掛けているが、地域の状況もふまえた非常災害対策の策定が不十分である。	地域の状況もふまえた非常災害対策を策定し、関係者に周知する。	地域の状況もふまえた非常災害対策を策定し、避難訓練に可能な範囲で反映させる。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。